

MVNOビジネスの成否を左右する ビルディングソリューションの導入

通信業界の関心を集めているMVNOの実現には、BSS(Business Support System)の整備が不可欠だ。コンバージェスは固定電話・携帯電話・ケーブルTVのBSS分野に豊富な実績を持つ。MVNOという新ジャンルでも、最適なシステムとコンサルティングサービスを提供し、事業者の要望に応えている。

MVNOへの戦略的アプローチ

携帯電話サービスの爆発的な成長は、通信市場に最大の影響を与えてきた。だが昨今では、その成長にも鈍りが見え始め、モバイル産業は大きな転換期を迎えている。

MVNOはそうした現状を打破するビジネスモデルと期待されている。携帯電話事業者が大口の第三者に回線やインフラを貸し出し、借りた側はMVNOとして新たな通信事業を起すという協業形態だ。

このビジネスモデルは、既存の通信事業者に新たな収入源をもたらすとともに、MVNOサービスを開始する企業には、ワイヤレス通信市場への新規参入の道を開く。従来の通信系と非通信系の枠組みを超えた新たなビジネスを展開する上で、有効なシナリオを描く枠組みである。

MVNOにはブランド力、優れたコンテンツ、流通経路を持つ企業が選ばれる。これらの要素を通信サービスと組み合わせることで、新たな成長戦略を描ける企業である。例えば、インターネット・音声・ビデオと無線通信のクワ

ドロプレーを検討している会社は、MVNO参入へ向かうことができるはずだ。

だが、魅力的に写るこの事業も、易々と開始できるわけではない。既存の通信事業者と同等のオペレーションを遂行できなければ、市場の支持は得られない。ビジネスプランの立案からビジネス・アーキテクチャ設計、顧客獲得・維持を含む長期計画を考案し、実行することが迫られる。

MVNOを支えるコンバージェス製品

MVNOは既存事業者のインフラを借りるとしても、一定水準のサービス提供にはシステム投資が必要になる。なかでもBSSは、サービス提供を支える総合的なオペレーティングシステムとして重要である。

コンバージェスはモバイル業界のBSS分野に多大な実績を築いており、実行能力とサービス力が世界で実証されている。

主力製品は、モバイルオペレータのニーズを余すことなく取り入れて設計された「Infynis」だ。レーティングおよびビルディング(課金計算)、パートナー管

理、顧客サービス管理、アクティベーション管理、メディエーション管理を含む広範な機能を統合。携帯電話事業者はもちろん、MVNOに必要な機能をほとんどカバーしている。

コンバージェスはこのシステムをベースに、導入企業のアーキテクチャ・ニーズを分析・把握し、共同で将来に向けたロードマップを描く。これにより導入企業は、最適なビジネス・アーキテクチャとInfynisソフトウェアを整え、さらにコンバージェスの技術支援のもとでサービスを開始できるようになる。

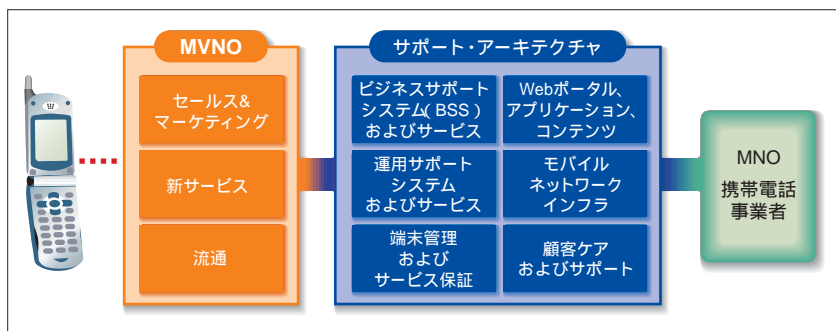
米国では既に9社に導入実績

コンバージェスはBSSプロバイダの立場から、MVNO戦略の立案と運営を目指す多数の企業を支援してきた。MVNOとホスト・ネットワーク通信事業者の双方に、独自のノウハウと優れた実行能力を提供できる状況にある。

米国では既に9社のMVNOが、コンバージェスのビルディングシステムを導入。特にESPNやディズニーモバイルのプロジェクトでは、MVNEのVisage Mobile社と組んで、MVNOの立ち上げ段階から関わり、BSSインフラを提供している。

日本市場でもこれらの実績を活かし、通信事業者やMVNOの事業化を図る企業に、製品の優位性を訴えている。

MVNO事業に必要なシステム概要図



お問い合わせ先

コンバージェス・ジャパン株式会社
営業部
info.jp@convergys.com
Tel 03-5740-6260 Fax 03-5740-6261
www.convergys.co.jp

コンバージェス・ジャパンはワイヤレスジャパン2006に出展します。